



人と、地域と、未来をむすぶ

十六銀行

十六アジアレポート 2026年10月号

JUROKU ASIA REPORT OCTOBER 2026

2026年10月1日 発行 十六銀行 ソリューション営業部 海外サポート室

目次

1. 上海:「中国の暮らしを変える『電池』 —バッテリーの進化がもたらす次の変化—」

上海駐在員事務所 多保隆宏

2. 為替相場情報

本書中の情報は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては全てお客様御自身でご判断くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行及び執筆者はその正確性を保証するものではありません。また、本書中の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。

1. 上海:「中国の暮らしを変える『電池』 —バッテリーの進化がもたらす次の変化—」

上海駐在員事務所 多保隆宏

■ 街の風景を変えた電動化

約 10 年ぶりに上海での生活を再開すると、中国社会の変化の速さに驚かされる。キャッシュレス決済、配車アプリ、ネット通販など、かつては目新しかったサービスが、今では日常生活に欠かせない存在となった。そうした変化の中でも、街の風景を大きく変えたと感じるのが「電動化」である。上海では電気自動車（EV）が普及し、路線バスでも電動車両を日常的に目にするようになった。エンジン音や排気ガスが減り、街中が以前より静かで快適になったことを実感する。こうした変化を見ると、電動化は一時的な流行ではなく、社会の構造的な変化の一部になったといえそうだ。

■ EV の前提を変えるバッテリー

もちろん、EV には販売価格、航続距離、充電時間、寒冷地での性能、耐久性といった面で、なお課題が残る。一方、こうした課題のいくつかは、バッテリー技術の急速な進歩によって解決の方向性が見え始めている。その動きを象徴する企業の一つが、中国福建省に本社を置く CATL（寧徳時代新能源科技）である。同社は車載電池の世界最大手で、2025 年の世界シェアは 39.2% と 9 年連続で首位を維持している※1。同社製バッテリーを搭載した車両は世界累計 2,400 万台を超え※1、中国の自動車メーカーだけでなく、世界の主要自動車メーカーにも採用されている※2。2026 年 4 月、CATL は新たな EV 向けバッテリー技術を発表した。これまで EV の課題とされてきた分野で技術開発が進んでいる※3



【写真1】CATLの第3世代「神行」（筆者撮影）

【CATLが発表したEV用バッテリーの概要 ※3】

名 称	特 徴	概 要
第3世代「神行」 【写真1】	充電時間の短縮、耐久性	充電10%から98%まで6分27秒 氷点下30度でも20%から98%まで約9分 1,000回の充放電後も容量90%以上を維持
第3世代「麒麟」	航続距離の長距離化、軽量化	セル・エネルギー密度280Wh/kg 航続距離1,000km級を可能に

※いずれもCATLの発表値

■ 「長く走る」から「すぐ充電」へ

注目したいのは、充電時間の短縮が EV の設計や使い方そのものを変える可能性である。充電がガソリン車の給油に近い時間で済むようになれば、すべての EV に長い航続距離が必要とは限らなくなる。用途によっては搭載するバッテリー容量を小さくし、車両重量や価格を抑えるという選択肢も広がる。EV の競争軸が「どこまで走れるか」だけでなく、「いかに短時間で充電できるか」へと広がれば、車の選び方にも変化が生まれるだろう。一度、新しい技術がもたらす便利さが社会に定着すれば、以前の生活に戻ることは難しい。電動化が進む上海の街を見ると、かつて鉄道が蒸気から電気へと動力を移行していったような、大きな技術転換の途中にいるようにも感じられる。



【写真2】上海の充電ステーション(筆者撮影)

■ 「電池」が支える社会へ

バッテリーの可能性は身近な乗用車だけにとどまらない。大型の貨物車、船舶、航空機など、用途は広がっている。中国で進む電動化を考えると、EV という完成品だけではなく、それを支えるバッテリー技術の進化が重要な鍵となる。

上海では電力需要が高まる時間帯には EV に貯めた電気を電力網へ戻す「V2G (Vehicle to Grid)」、つまり EV を蓄電池として活用する取組みも進められている。太陽光や風力など、発電量が時間や天候に左右される再生可能エネルギーの利用拡大には、「電気を貯める」技術が欠かせない。電力需要の少ない時間帯に EV へ充電し、需要が集中する時間帯には駐車中の EV から電力網へ電力を供給する仕組みが普及すれば、自動車は単なる移動手段ではなく、社会の電力インフラの一部としても機能し得る。

AI や自動運転など、新しい技術が将来の社会をどう変えていくかを予測することは難しい。上海で EV 化が進み、街中の大気汚染が改善したと感じられるように、技術が生活に溶け込んだとき、ようやく、その重要性を実感できるのかもしれない。バッテリーの進化が EV の性能向上にとどまらず、移動、物流、エネルギー、そして日々の暮らしをどこまで変えていくのか。中国で起きている変化に今後も注目していきたい。

<出典>

※1：2026 年 3 月 10 日付 CATL 2025 Annual Report (英文)

Zero-Carbon Technology Powers “All-Domain Growth” : CATL Releases 2025 Annual Report

※2：2026 年 7 月 12 日付 CATL ニュースリリース (英文)

CATL Receives the 2026 Volkswagen Group Award

※3：2026 年 4 月 21 日付 CATL ニュースリリース (英文)

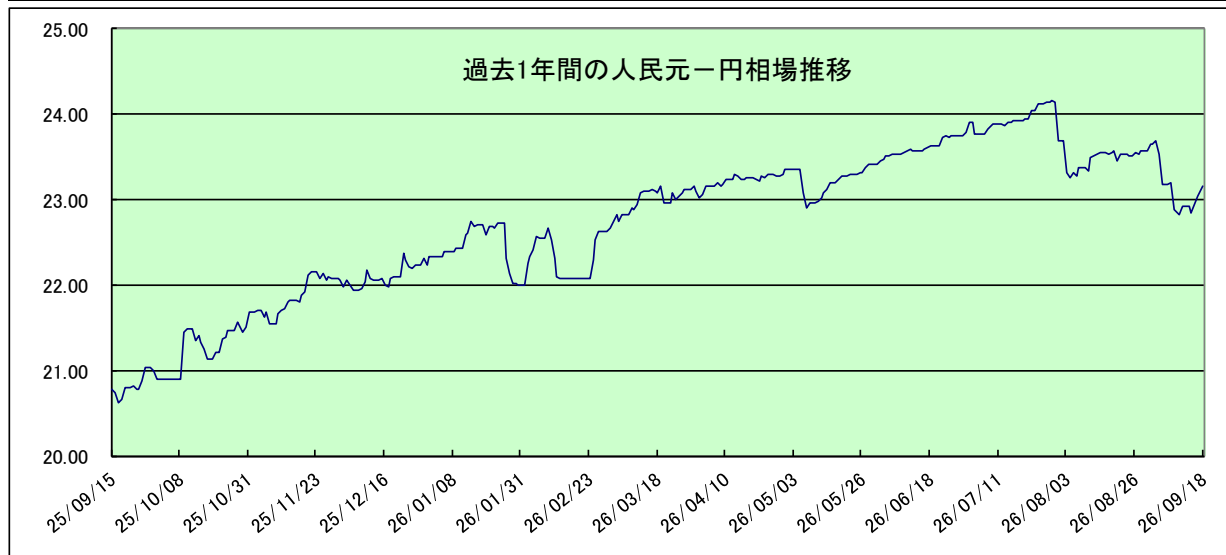
CATL Unveils Six Major Innovations: Multi-Chemistry Systems to Redefine New Energy Mobility Experience

2. 為替相場情報

(1) 人民元一円為替相場(中国人民銀行公表仲値)

(単位: 1 人民元当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
8月24日	23.50673	8月25日	23.51945	8月26日	23.55713	8月27日	23.53440	8月28日	23.56934
8月31日	23.64905	9月1日	23.64010	9月2日	23.68658	9月3日	23.53218	9月4日	23.18303
9月7日	23.20293	9月8日	22.88015	9月9日	22.84461	9月10日	22.82636	9月11日	22.92842
9月14日	22.83157	9月15日	22.93999	9月16日	23.03139	9月17日	23.12032	9月18日	23.16262



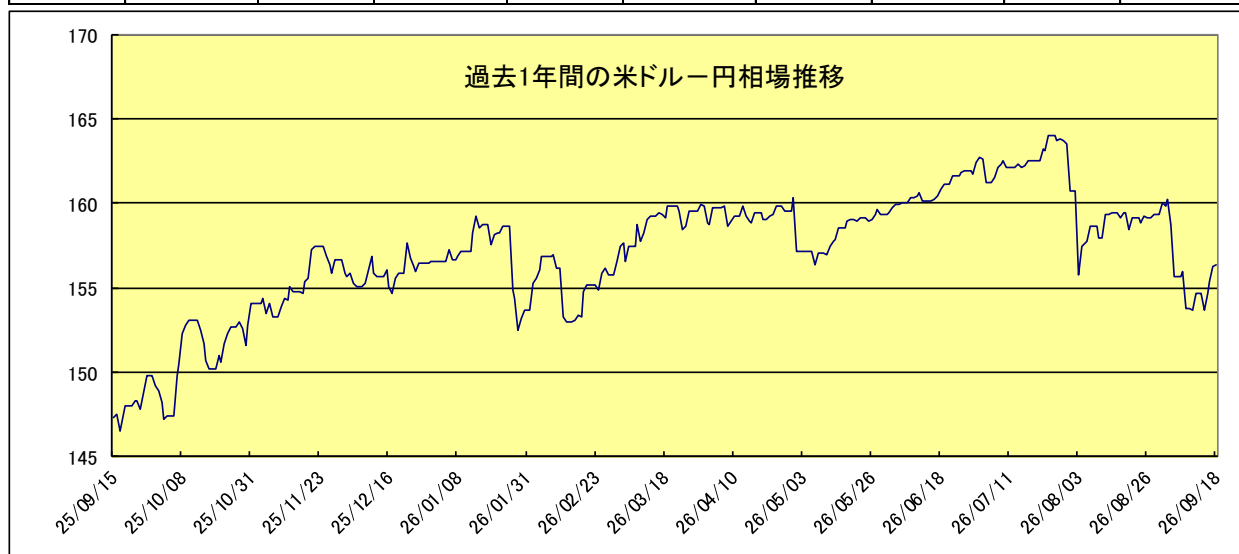
上記表、及びグラフはこの公表仲値を便宜的に1人民元当たりの日本円へ換算し直した相場です。

そのため、正式な人民元相場が必要な場合は、中国人民銀行にお問い合わせ下さい。

(2) ドル一円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1 ドル当たりの日本円)

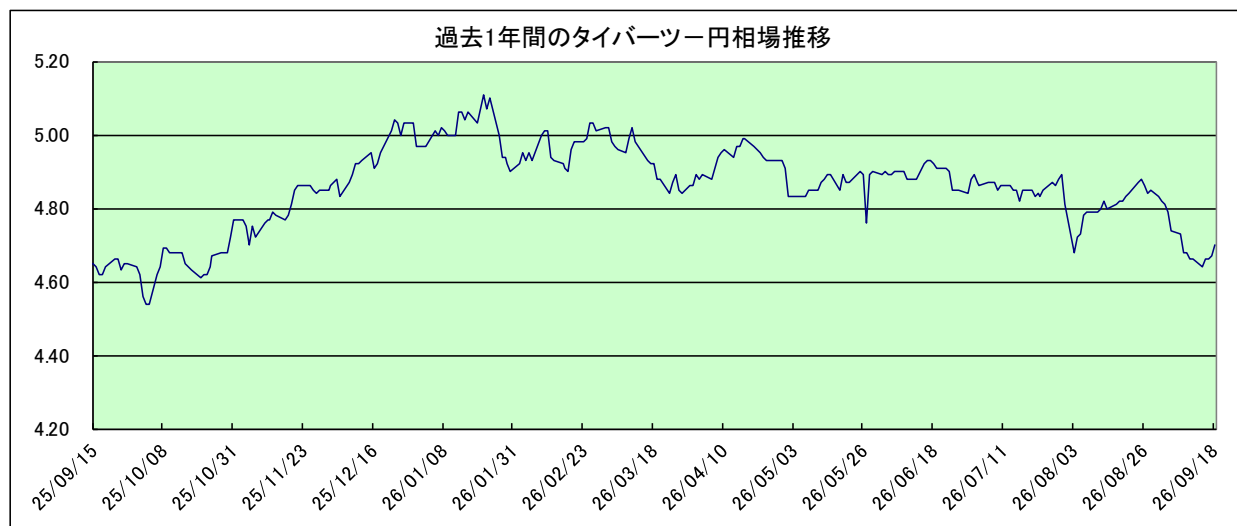
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
8月24日	158.81	8月25日	159.23	8月26日	159.13	8月27日	159.18	8月28日	159.40
8月31日	160.02	9月1日	159.80	9月2日	160.29	9月3日	158.71	9月4日	155.68
9月7日	155.95	9月8日	153.74	9月9日	153.74	9月10日	153.73	9月11日	154.65
9月14日	153.65	9月15日	154.69	9月16日	155.41	9月17日	156.26	9月18日	156.32



(3) タイバーツ-円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1 バーツ当たりの日本円)

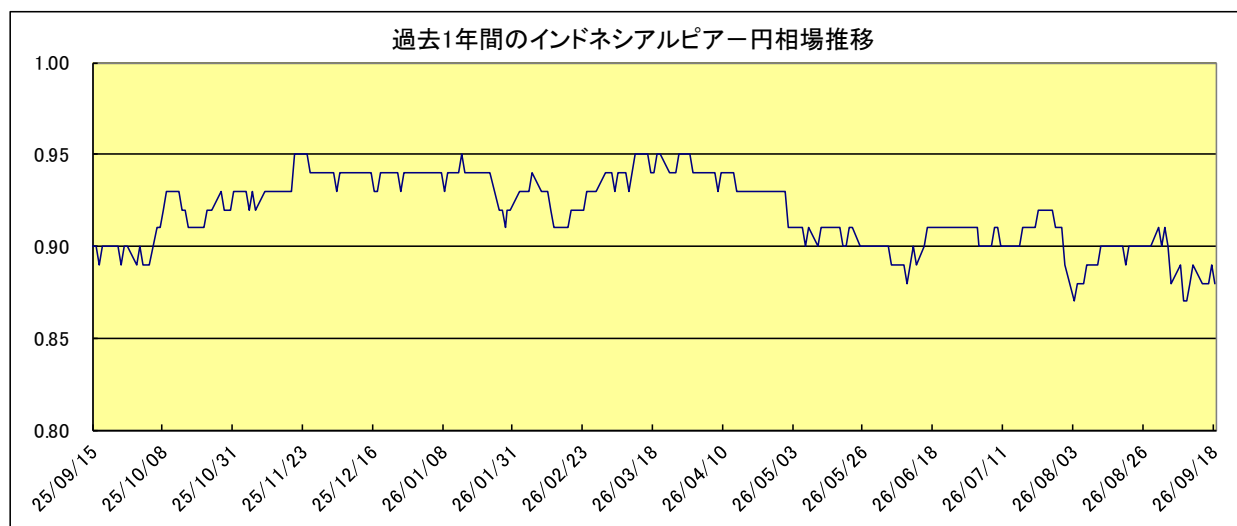
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
8月24日	4.8700	8月25日	4.8800	8月26日	4.8600	8月27日	4.8400	8月28日	4.8500
8月31日	4.8300	9月1日	4.8200	9月2日	4.8100	9月3日	4.7900	9月4日	4.7400
9月7日	4.7300	9月8日	4.6800	9月9日	4.6800	9月10日	4.6600	9月11日	4.6600
9月14日	4.6400	9月15日	4.6600	9月16日	4.6600	9月17日	4.6700	9月18日	4.7000



(4) インドネシアルピア-円為替相場(参考値)

(単位: 100 ルピア当たりの日本円)

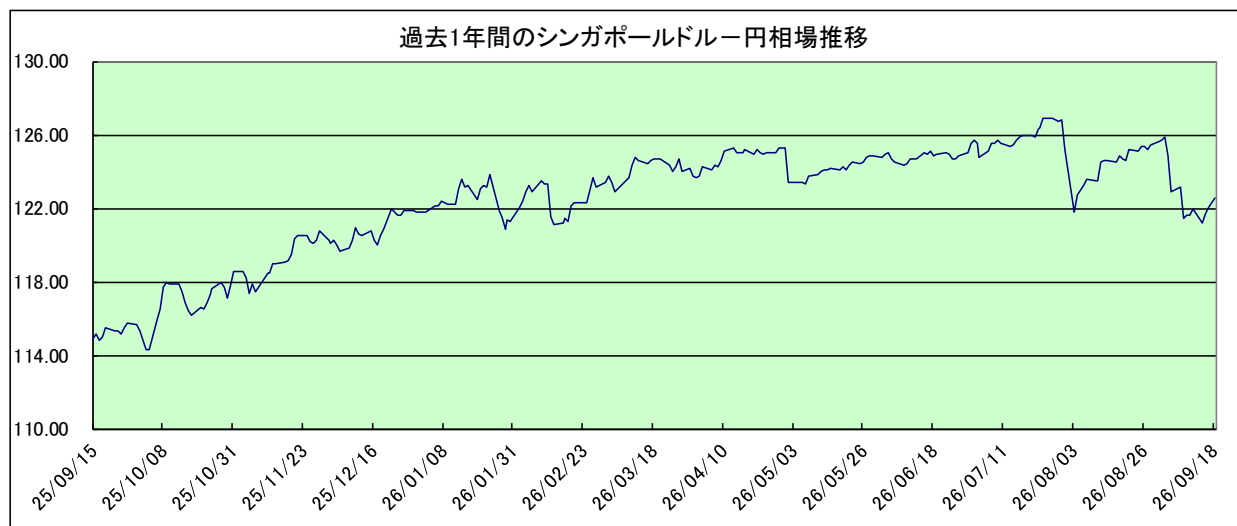
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
8月24日	0.9000	8月25日	0.9000	8月26日	0.9000	8月27日	0.9000	8月28日	0.9000
8月31日	0.9100	9月1日	0.9000	9月2日	0.9100	9月3日	0.9000	9月4日	0.8800
9月7日	0.8900	9月8日	0.8700	9月9日	0.8700	9月10日	0.8800	9月11日	0.8900
9月14日	0.8800	9月15日	0.8800	9月16日	0.8800	9月17日	0.8900	9月18日	0.8800



(5) シンガポールドル＝円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1ドル当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
8月24日	125.1300	8月25日	125.3900	8月26日	125.3300	8月27日	125.2200	8月28日	125.4300
8月31日	125.5900	9月1日	125.6700	9月2日	125.8800	9月3日	124.8800	9月4日	122.8800
9月7日	123.1300	9月8日	121.4800	9月9日	121.6100	9月10日	121.6000	9月11日	121.9900
9月14日	121.2000	9月15日	121.7000	9月16日	122.0100	9月17日	122.2800	9月18日	122.5200



(6) ベトナムドン＝円為替相場(参考値)

(単位: 1000ドン当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
8月24日	6.0700	8月25日	6.0800	8月26日	6.0900	8月27日	6.0900	8月28日	6.1100
8月31日	6.1300	9月1日	6.1200	9月2日	6.1400	9月3日	6.0800	9月4日	5.9700
9月7日	5.9800	9月8日	5.9000	9月9日	5.9000	9月10日	5.9300	9月11日	5.9600
9月14日	5.9200	9月15日	5.9600	9月16日	5.9700	9月17日	6.0000	9月18日	6.0000

